

科名 泌尿器科 泌-2(2)  
 対象疾患名 尿路上皮がん  
 プロトコール名 GC療法(day8,15)

| Rp | 形態  | ルート | 薬品名              | 投与量                            | 時刻・コメント | 8 | ... | 15 | ... | 28 |
|----|-----|-----|------------------|--------------------------------|---------|---|-----|----|-----|----|
| 1  | 点滴注 | メイン | 生理食塩液            | 250mL                          | ルートキープ  | ↓ |     | ↓  |     |    |
| 2  | 点滴注 | 側管  | デキサート注<br>生理食塩液  | 13.2mg<br>50mL                 | 30分かけて  | ↓ |     | ↓  |     |    |
| 3  | 点滴注 | 側管  | ジェムザール<br>5%ブドウ糖 | 1000mg/m <sup>2</sup><br>100mL | 必ず30分で  | ↓ |     | ↓  |     |    |

★1クール=28日

～MEMO～

- ・催吐レベル2(30～10%)
- ・泌尿2(1)から続く(day8-28)

＜ジェムシタビン＞

ジェムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

- ①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。
  - ・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
  - ・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
  - ・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。
- ②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。
  - ・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
  - ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。